

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2003-94962(P2003-94962A)

【公開日】平成15年4月3日(2003.4.3)

【出願番号】特願2002-165961(P2002-165961)

【国際特許分類第7版】

B 6 0 K 15/077

F 0 2 M 37/00

F 1 6 L 41/08

【F I】

B 6 0 K 15/02 L

F 0 2 M 37/00 3 0 1 E

F 0 2 M 37/00 3 2 1 A

F 1 6 L 41/08

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

また、前記目的を達成するために、請求項3に記載の発明を、前記請求項1に記載の発明において、前記コネクタが、通気管の接続用コネクタであることを特徴とする燃料タンク用コネクタとしてある。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

また、前記目的を達成するために、請求項4に記載の発明を、前記請求項1に記載の発明において、前記コネクタがフューエルカットオフバルブを備えていることを特徴とする燃料タンク用コネクタとしてある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 5 8】

このように燃料タンクBに備え付けられたコネクタAに、適宜管Cを接続して用いる。

この管Cの接続される当該コネクタAにおける筒状部1は、この接続される管Cが容易且つ確実に接続状態を維持され得るように、この図示例にあっては、この筒状部1における横向き筒状部1bの外周面に、先窄まりの円錐状案内部1cと、この円錐状案内部1cの頂端から該横向き筒状部1bの外周面に到る垂直な段差状面1dを備えた隆起部を複数備えた構成としてある。

【手続補正4】

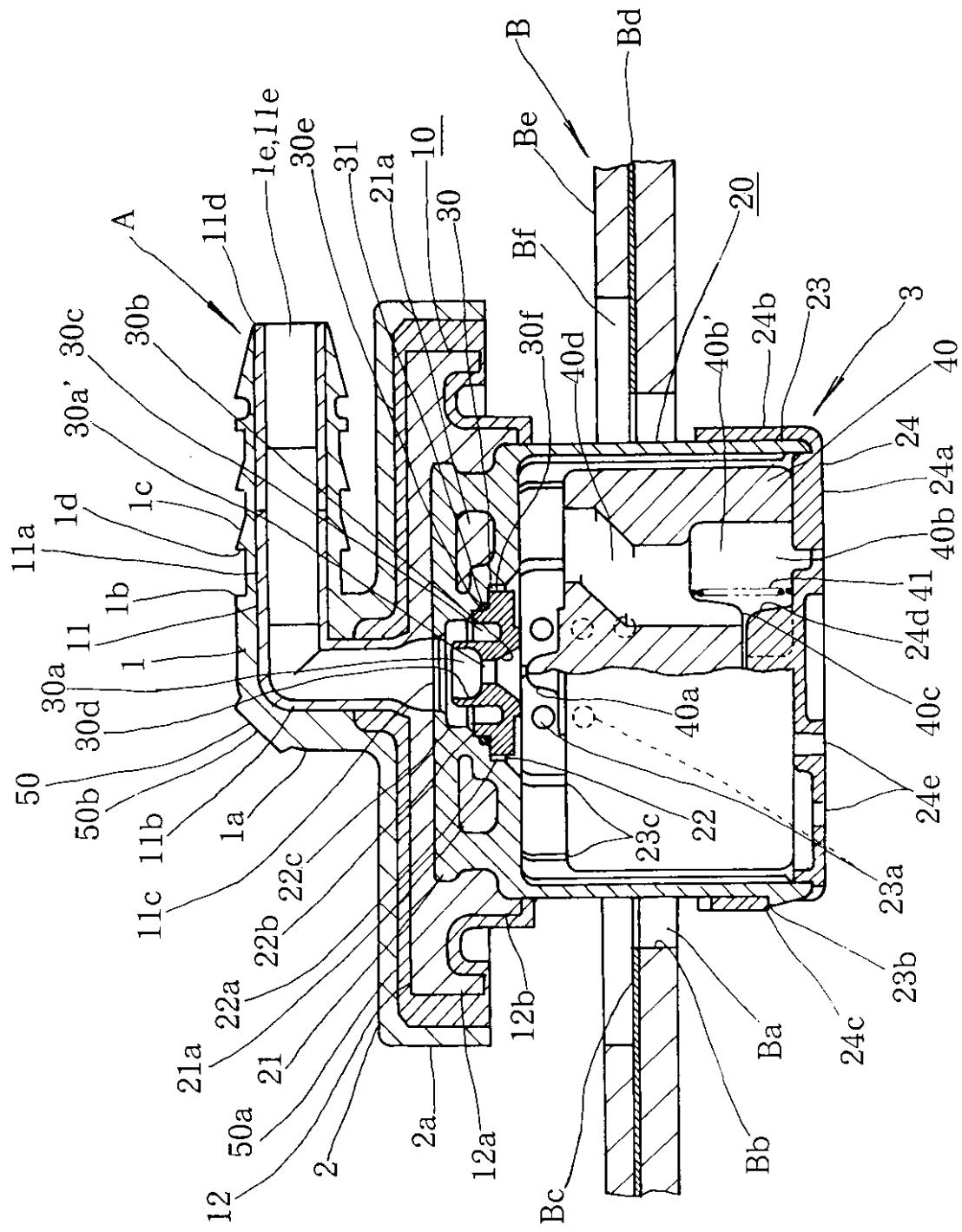
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 】



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図13】

